

# 座光寺村の歌はどのようにして生まれたの？

1948年（昭和23年）9月、「明るい住みよい、文化郷土の建設は私共の常に念願しているところです。その為に全村民の老若男女すべてが心から歌う座光寺村の歌を募集します。その歌によって明るい希望に充ちた明日の座光寺村が予約されるような歌をお寄せ下さい。」と全村民に募集して生まれたのです。

## 村歌の募集

「村歌の募集は力作実に十数編に及び文化座光寺の力強さを思わせましたが締切日が早かったため、充分推敲のひまなくもう一息という佳作がたくさんありましたので締切日を延期し更に最善を期したいと思います。」と座光寺村史に書かれています。座光寺村歌募集締切延期、村歌歌詞再募集という状況をのり越えて1949年（昭和24年）12月10日盛大に村歌発表会が行われました。1位は伊谷唯介さんの作詩でした。

村歌の他に「座光寺いろはかるた」「座光寺音頭」「座光寺八景」があります。どんなものか調べてみましょう。

## 座光寺の歌

伊谷 唯介 作詞  
正木 由希 作曲

Moderato con brio  
(精気を持って、普通の速さ)

Score for 'Zuokouji no Uta' in G major, 4/4 time. The score consists of six staves of music with lyrics written below. The lyrics are: むらさきに おうざこん じーの ふな が れて と おき て ん ー りゆー の み じーは いま ぞれ い めーい せ ずーは いつ ねーに せ いーしーん せ だーき は あき けぬ せ いーしゆんーの こ のーき と にて をーと り て と のーき と にこ えーあ げ て と もーに とーもーに き づーか ん おー へい かわ おーへい かわ わ れ ら の き ぼーう へい かわ おーへい かわ わ れ ら の し めーい

## 座光寺の歌

詩 伊谷 唯介

- 1 紫におう座光寺の  
富士は今ぞ黎明  
世紀は明けぬ青春の  
この里に手を取りて  
共に共に築かん  
おお文化 おお文化  
我らの希望
- 2 流れて遠き天竜の  
水は常に清新  
時代は来たり新生の  
この郷に声あげて  
共に共に歌わん  
おお平和 おお平和  
我らの使命